

2023年度 日本工学院専門学校											
建築学科											
建築製図 1											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	山田 盛久 他			実務経験	有	職種	建築設計／一級建築士				
担当教員紹介											
大学院の意匠・歴史研究室にて西洋建築史研究と横浜・鎌倉の歴史的建造物の実測調査・保存活動に携わる。その後、一級建築士事務所を設立し住宅設計・監理を経験。本校の非常勤講師を経て常勤教員として設計教育に従事。											
授業概要											
建築製図 1（5週）・基礎デザイン（5週）・ものづくり実習 1（5週）をクラスごとのローテーションで実施。自らの手で1本の線を引くところから、すべての造形活動、創作活動がスタートすることを学ぶ。各課題の体験の積み重ねにより、造形分野で必要となる図画力、形態操作に対する観察力と考察力等のものづくりの基盤を養う。											
到達目標											
次の3点を到達目標とする。 ①手描き図法について理解し表現できる ②建築物の平面図・立面図・断面図を読み、手描きで表現することができる ③建築図面を魅せるプレゼンテーションとして手描きで仕上げるができる											
授業方法											
毎授業ごとのシラバスの内容に従い授業を進捗する。担当講師から説明される各回ごとに取り組む作業内容をしっかりと把握し、各自作業を進める。											
成績評価方法											
提出物、授業態度、平常点、などを総合的に判断する。											
履修上の注意											
出席は自己管理して出席不足にならないようにすること。授業時数の4分の3以上出席しない者は単位を認定しない。日本工学院授業心得（学生用）を守ること。											
教科書教材											
毎回資料を配布する。参考書・参考資料等は授業中に指示する。											
回数	授業計画										
第1回	（ものづくり実習 1 ①）										
第2回	（ものづくり実習 1 ②）										
第3回	（ものづくり実習 1 ③）										
第4回	（ものづくり実習 1 ④）										
第5回	（ものづくり実習 1 ⑤）										

2023年度 日本工学院専門学校	
建築学科	
建築製図 1	
第6回	ガイダンス（授業内容の概要、成績評価の方法等を説明する） 課題①基礎図法
第7回	課題②三面図・アイソメ図 課題③平面図・断面図
第8回	課題④立面図・屋根伏図 課題⑤着彩練習
第9回	課題⑥名作住宅写真（木造）
第10回	課題⑦建築物イメージパース
第11回	（基礎デザイン①）
第12回	（基礎デザイン②）
第13回	（基礎デザイン③）
第14回	（基礎デザイン④）
第15回	（基礎デザイン⑤）